

狭山ヶ丘分館 図書館だより

2023夏号

星型のおりがみは「切り紙でつくる花のへす玉」

を参考に職員が作りました。

狭山ヶ丘分館児童イベントのお知らせ

※感染症対策のため、状況により中止する場合がございます。

「ちょっぴりこわいおはなし会」

■7月8日(土)午後3時10分から ■場所：狭山ヶ丘コミュニティセンター2階 第1・第2集会室
6月24日(土)午前9時30分より狭山ヶ丘分館カウンター又は電話で受付中

「ぬいぐるみおとまり会」

あなたのぬいぐるみが、図書館におとまりします♪何をしてすごすのかな？

■おあずかり：8月26日(土)午前10時30分のおはなし会
■おむかえ：8月27日(日)午前9時30分から午前12時まで ■定員10人(事前申込制)
8月12日(土)午前9時30分より狭山ヶ丘分館カウンター又は電話で受付開始

「夏休み工作会」(道具や材料は図書館が用意します。)

しかけちょきんばこをつくろう!当日は汚れてもいい服装でお越しください。

■8月19日(土)午後1時30分から ■対象：5歳以上(7歳以下は保護者同伴)
■場所：狭山ヶ丘コミュニティセンター2階 学習室 ■定員：8人(事前申込制)
8月5日(土)午前9時30分より狭山ヶ丘分館カウンター又は電話で受付開始

こんなことしました。

令和5年春（4～6月）

「図書館クイズスタンプラリー」

開催：4月18日（火）～5月30日（火）参加者：子ども 120名

毎年、こどもの読書週間（4月27日～5月10日）に狭山ヶ丘分館では、いくつかの児童イベントを行っています。そのひとつがこの「図書館クイズスタンプラリー」です。図書館内のヒントを頼りに問題を解いていくものですが、問題用紙を手に図書館内を歩く子どもたちの様子は、大変微笑ましいものでした。今年度も【やさしい問題】と【むずかしい問題】の2種類を用意したのですが、両方やりたい！という嬉しい申し出がたくさんありました。全問正解すると、職員手作りのガチャガチャを回すことができます。何が出てくるのかは、カプセルを開けてからの楽しみ。中に入っているプレゼントも職員の手作りです。こちらも好評で、イベント期間が終わっても「ガチャガチャしたいな」と言ってくれる子どもも少なくありません。これからも子どもたちに喜んでもらえるようなイベントを行ってまいります。



「春の読書の木」を实らせよう！

開催：4月1日（土）～5月30日（火）参加者：子ども 86名

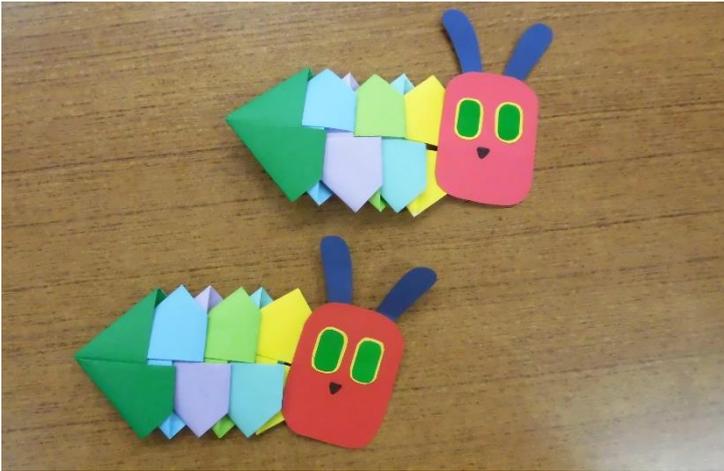
4・5月の恒例行事、こどもの読書週間『春の読書の木』を实らせよう！を行いました。折り紙で作成した木の葉型のポップに、好きな本のイラストや、おススメの本のタイトルなどを記入していただき、職員が窓に貼り付けました。子どもたちの個性あふれるイラストや、カラフルに彩られた文字を来館者の方々が楽しそうに眺めていたのが印象的でした。緑や黄色などの色鮮やかなポップで、初夏を感じさせるとてもきれいで大きな読書の木が完成しました。今年度は昨年度の参加者を大きく上回る多くの方々に参加していただきました。ご参加ありがとうございました。



「スペシャルおはなし会」

開催：4月29日（土）

参加者：大人4名 子ども4名



年に数回ある第5週の土曜日、狭山ヶ丘分館では、ちょっぴり特別なおはなし会を行います。4月のテーマは『はらぺこあおむし』。間近で見ると大型絵本に、子どもたちは大喜びしてくれました。絵本の後は楽しい工作です。折り紙で【はらぺこあおむし】を作りました。少し難しい工程があったのですが、みんな上手に作ってくれました。次回は7月と9月です。ご参加お待ちしております！

「ブックトークに行ってきました」

訪問先：6月6日（火）三ヶ島小学校 / 6月7日（水）若狭小学校

梅雨晴れの中、ブックトークに行ってきました。ブックトークとはテーマに沿っておすすめの本を紹介するものです。所沢図書館は市内の全3年生を対象にブックトークを行っています。狭山ヶ丘分館のテーマは「チェンジ！」です。物の位置を次々と変えてしまう困ったおかみさんが出てくる素話や、赤や青に色が変わる牛乳パックを使った工作の本を紹介すると、笑い声や驚きの声があちらこちらから聞こえてきました。ブックトークでは、本の内容をかいつまんで紹介していきます。そのため「続きが気になる人は、この本をぜひ読んでみてください」と言って本を閉じると、「いいところなのに・・・」と少し残念そうな顔をされてしまいます。でも最後に紹介した本を含めて40冊貸出することを伝えると、みんな「やったあ」と言ってくれました。教室を出る時「また来てね！」と言ってもらえたのがとても嬉しかったです。私達が学校に伺う機会は多くはないのですが、皆さんが狭山ヶ丘分館に来てくれるのを、職員一同お待ちしております。



9月に寄席開催します！

2019年にさやまがおか荘と共催で行われた“寄席”を今年4年ぶりに開催致します！

日時：9月22日（金）午後3時より

入船亭扇橋（いりふねていせんきょう）さんによる落語公演

定員：50名

参加申込み：9月初旬予定





図書館スタッフの オススメ本

すいかの匂い

江国 香織／著 新潮社 請求記号 913.6/エ



子供の頃の純真な気持ちのままに感じた、夏の記憶を物語にした短編集です。この本には、自分の心の深い場所に鮮明に残されている、11人の少女の嫌でも忘れられない夏の思い出が詰まっています。本能のまま素直に受け入れることのできた純粋な気持ちを今でも持ち続けていますか？そう問いかけるような作品です。大人になると経験することのできない、子どもならではの不思議な出会いや不気味な体験をあるがままに描写しています。誰にでもある、思い出したくないけれどどこか懐かしさを感じる思い出を蘇らせてくれます。本当にあった話なのか、それともその人が自分の想像の中で創り上げた話なのか、読み手それぞれで感じ方に違いが生まれるような作品であるため、読んでいてとても楽しいです。少し奇妙でホラーな部分もありますが、温かくも感じる、幼いあの頃の忘れられない思い出が蘇ってくるような一冊です。ぜひ読んでみて下さい。

黒牢城

米澤 穂信／著 KADOKAWA 請求記号 913.6/ヨ



天正6年（1578年）の冬、本能寺の変より4年前、織田信長の天下取りのさなか。織田信長に反旗を翻して摂津有岡城に籠った荒木村重は、城内で起きる数々の不可解な難事件に、翻弄されていた。事件を解決するために動く荒木村重であったが、なかなか解決の糸口が見つからない。そこで、土牢に幽閉していた織田方（豊臣秀吉）の軍師である黒田官兵衛に、それらの謎を解くよう依頼する。ここに、戦国猛者同士の頭脳戦・推理戦が始まる一。

長期化する籠城と様々な事件発生により、城内に漂う不穏な空気。荒木村重の領主としての苦悩や孤独。戦国時代ゆえのひりひりとする緊迫感が随所から伝わってきます。その中での難事件。黒田官兵衛が探偵のごとく、謎解きのヒントを荒木村重に与えていきます。荒木村重 VS 黒田官兵衛という、戦国武将同士の心理戦や、作者による時代考察も丁寧に書かれているため、時代小説としても読み応えがあります。事件の裏に潜んでいる謎に挑む、戦国ミステリー作品。是非、ご一読ください。

☆☆☆狭山ヶ丘分館 臨時休館のお知らせ☆☆☆

狭山ヶ丘コミュニティーセンターの定期清掃に伴い、狭山ヶ丘分館も下記の通り休館を予定しております。

2023年7月17日（月・祝） ※7月18日（火）休館日

ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力お願いいたします。

